

作成日 2001年 3月20日
改訂日 2023年 4月 1日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 Hamatite SC-SR1 (防カビ 全色)

会社名 シーカ・ジャパン株式会社

住 所 〒107-0051 東京都港区元赤坂 1-2-7 赤坂 K タワー7F

担当部門 オペレーションズ&サプライチェーン Q-EHS

電話番号 0463-31-2772

F A X 番号 0463-31-2769

整理番号 1071-R9

推奨用途及び使用上の制限
一般工業品【業務用】

2. 危険有害性の要約

GHS分類：

| | | |
|-----------|-----------------|------|
| 健康に対する有害性 | 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 | 区分2 |
| | 皮膚感作性 | 区分1B |
| | 発がん性 | 区分1B |
| | 生殖細胞変異原性 | 区分1B |
| | 生殖毒性 | 区分1B |
| 環境に対する有害性 | 水生環境急性有害性 | 区分3 |
| | 水生環境慢性有害性 | 区分3 |

*記載がない危険有害性は、「区分に該当しない」または「分類できない」である。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語： 危険

危険有害性情報： 強い眼刺激
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
遺伝性疾患のおそれ
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
水生生物に有害
長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き： 《安全対策》
使用前に取扱説明書を入手すること。

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 粉塵/煙/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
 取扱い後は手をよく洗うこと。
 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
 環境への放出を避けること。

《応急措置》

皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。
 皮膚刺激又は発疹が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

《保管》

施錠して保管すること。

《廃棄》

内容物/容器を、現地/地域/国/国際法律に従って処理すること。

その他の危険有害性情報： 本品は水、湿気及び空気中の水分と反応して（加水分解）、下記化合物を生成する。

メチルエチルケトオキシム

想定される非常事態の概要： 強い眼刺激。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。生殖に影響を与えることがある。生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。水路に排出されると環境に対して有害である。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名：シリコーン混和物

| 成分名 | 含有量 (wt%) | 化学特性 (化学式) | 官報公示整理番号 | | CAS No. |
|-------------------|--------------|--|----------|----------|------------|
| | | | 化審法 | 安衛法 | |
| 非結晶性シリカ | 5~10 | — | 非公開 | 非公開 | 非公開 |
| メチルオキシムシラン | 1~5 | — | 非公開 | 非公開 | 非公開 |
| 二酸化チタン | 1~5 | TiO ₂ | (1)- 558 | (1)- 558 | 13463-67-7 |
| ビニルオキシムシラン | 0.5~1 | — | 非公開 | 非公開 | 非公開 |
| アルコキシシラン | 0.1~0.5 | — | 非公開 | 非公開 | 非公開 |
| イタゾール化合物 (不純物) | 0.1~0.5 | — | 非公開 | 非公開 | 非公開 |
| メチルエチルケトオキシム | <1 | C ₂ H ₅ (CH ₃)C=N-OH | (2)-546 | (2)-546 | 96-29-7 |
| 分解生成物 | 含有量 (wt%) | 化学特性 (化学式) | 官報公示整理番号 | | CAS No. |
| メチルエチルケトオキシム | | C ₂ H ₅ (CH ₃)C=N-OH | (2)-546 | (2)-546 | 96-29-7 |

化審法；全成分登録済保証。

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動させる。症状が悪化したり継続したりする場合は医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣服を直ちに脱ぎ、皮膚を石鹸と水で洗うこと。皮膚に少量付着した場合、影響を受けていない皮膚に物質が広がるのを防止すること。皮膚刺激又は発疹が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
- 眼に入った場合 : 清浄な水で 15 分間以上洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。刺激が強まったり続く場合は眼科医の手当を受けること。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。直ちに医師の手当てを受けること。
- 応急措置をする者の保護 : ばく露またはばく露の懸念がある場合、医師の診断／手当てを受けること。医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。汚染された衣類を再利用する場合には洗濯をすること。
- 医師に対する特別な注意事項 : 病状に応じて処置すること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水噴霧。泡消火剤、粉末消火剤。二酸化炭素 (CO₂)。
- 使ってはならない消火剤 : 知見なし。
- 火災時の特有の危険有害性 : 加熱および火災により有害な蒸気/ガスが生成されることがある。火災時の特有の危険有害性 窒素酸化物。(腐食性あり。)特有の
- 特有の消火方法 : もし危険を冒さずに出来る場合は、火災区域から容器を移動させる。流出水は環境に有害性の懸念あり。
- 消火を行う者の保護 : 消防士は、防火衣、ヘルメット、手袋、ゴムブーツを含む標準的な防護衣、自給式呼吸器(SCBA)を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 :
関係者以外の立入りを禁止する。流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告するべきである。流出物に触ったり踏んだりしない。十分な換気を確保する。適切な保護具を着用する。
- 環境に対する注意事項 : 安全を確認してから、流出防止の措置をとる。環境への放出を避けること。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材 : 全ての着火源を取り除く。
大量の漏出 : 可能な場合は漏出物が広がるのを防止すること。プラスチックのシートで覆い、拡散を防止する。バーミキュライト、砂、土などの不燃性材料を用いて製品を吸収し、廃棄のため容器に収める。水路、下水道、地下または密閉された場所へ流入を防ぐ。
少量の漏出 : 布等の吸収材で拭き取る。残った汚染を除去する為に床をよく清掃すること。元の容器に回収して再使用することは絶対に避けること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策（局所排気・全体換気等）：適切な換気を行う。

安全取扱い注意事項：取り扱い／保管は慎重に行うこと。使用前に取扱説明書を入手すること。すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。適切な保護具を着用する。取扱い後は手をよく洗うこと。環境への放出を避けること。排水路に流してはならない。妊娠中または授乳中の女性はこの製品を取り扱ってはならない。皮膚に触れないようにする。眼に入らないようにする。ミスト又は蒸気を吸入しないこと。長時間の暴露を避けること。

接触回避：『10.安定性及び反応性』を参照。

適切な衛生対策：皮膚に触れないようにする。眼に入らないようにする。休憩前や製品取り扱い直後には手を洗う。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。適切な産業衛生及び安全対策のもとに取り扱う。

保管

安全な保管条件：施錠して保管すること。容器を密閉しておくこと。子供の手の届かないように保管すること。直射日光が入らない、涼しく乾燥した場所に貯蔵すること。

安全な容器包装材料：元の容器で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置設備対策

許容濃度及び管理濃度：

日本産業衛生学会 成分 酸化チタン (CAS13463-67-7)
 タイプ TWA 数値 4 mg/m³ 形状 総粉塵
 数値 1 mg/m³ 形状 吸入性粉塵
 数値 0.3 mg/m³

ACGIH 成分 酸化チタン (CAS13463-67-7)
 タイプ TWA 数値 10 mg/m³

原料供給者ガイドライン 分解生成物 メチルエチルケトオキシム (CAS 96-29-7)
 タイプ STEL 数値 10ppm
 タイプ TWA 数値 3ppm

設備対策：適切な全体換気・局所排気装置を設置する。洗眼設備を設置する。
 施工後、少なくとも24時間はドアや窓の開放・換気扇の使用等を行い換気の良い状態にして下さい。

保護具

呼吸器の保護具：作業者が暴露限界値を上回る濃度にさらされる場合には、適切な認定を受けたマスクを着用する必要がある。

手の保護具：保護手袋を着用すること。

眼の保護具：側板付安全眼鏡（またはゴーグル）を着用すること。

皮膚及び身体の保護具：適切な保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：ペースト状

色：それぞれの製品名称の色（ライトグレー、ホワイト、ダークグレー）

| | |
|---------------------|--|
| 臭い | : オキシム臭 |
| pH | : 測定不可 (水溶解性を参照すること) |
| 融点 / 凝固点 | : データなし |
| 沸点、初留点と沸騰範囲 | : 該当せず |
| 可燃性 | : データなし |
| 爆発下限界及び爆発上限界 / 可燃限界 | : データなし |
| 引火点 | : > 61 °C (> 141.8 °F) (密閉式) (継続燃焼性なし) |
| 自然発火温度 (発火点) | : データなし |
| 分解温度 | : データなし |
| pH | : データなし |
| 動粘性率 | : データなし |
| 蒸気圧 | : データなし |
| 比重 (相対密度) | : 1.03 -1.05(25 °C) |
| 相対ガス密度 | : データなし |
| 粒子特性 | : データなし |

1 0. 安定性及び反応性

| | |
|------------|--|
| 反応性 | : 通常の使用、保管、輸送条件下で起こる既知の危険な反応はない。 |
| 化学的安定性 | : 通常の状態では安定 |
| 危険有害反応可能性 | : 危険な重合は起こらない |
| 避けるべき条件 | : 特になし。 |
| 混触危険物質 | : 強酸化剤。 水、湿気。 |
| 危険有害性分解生成物 | : 本品は水、湿気及び空気中の水分と反応して (加水分解)、下記化合物を生成する。 メチルエチルケトオキシム。 加熱又は燃焼により下記の分解生成物を発生する可能性がある。 一酸化炭素、二酸化炭素等の酸化炭素類、不完全燃焼により生成する微量の炭素化合物。二酸化珪素。 窒素酸化物。 ホルムアルデヒド。 |

1 1. 有害性情報

| 成分 | 種 | 試験結果 |
|---------------------|---------------|---|
| アルコキシシラン (CAS 非公開) | | |
| 急性 | | |
| 経口 LD50 | ラット | 2995 mg/kg 2400 mg/kg |
| 経皮 LD50 | ウサギ | > 2000 mg/kg 16 ml/kg |
| イミダゾール化合物 (CAS 非公開) | | |
| 急性 | | |
| 経口 LD50 | ギニアピッグ ラット | > 5000 mg/kg > 10000 mg/kg > 5000 mg/kg |
| 経皮 LD50 | ウサギ ラット | > 10000 mg/kg > 2000 mg/kg |
| 分解生成物 | 種 | 試験結果 |

メチルエチルケトオキシム(CAS 96-29-7)

急性

| | | |
|------------|--------------|-------------------|
| 吸入 蒸気 LC50 | ラット(オスおよびメス) | > 4.83 mg/l, 4 hr |
| 経口 LD50 | ラット(オスおよびメス) | >900 mg/kg |
| | (オス) | 2326 mg/kg |
| 経皮 LD50 | ウサギ(オスおよびメス) | >1000 mg/kg |

| | |
|-------------------|---|
| 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 | : 中刺激性 (ウサギ) [アルコキシシラン] |
| 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 | : 重篤な眼の損傷。 [ビニルオキシムシラン] |
| 刺激性 | : 15mg 強刺激性 (ウサギ) [アルコキシシラン] 強い眼刺激 [メチルオキシムシラン][メチルエチルケトオキシム] |
| 呼吸器または皮膚感作性 | : アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 [メチルオキシムシラン][ビニルオキシムシラン][メチルエチルケトオキシム] 陽性 (ギニアピッグ) [アルコキシシラン] |
| 生殖細胞変異原性 | : 遺伝性疾患のおそれ。 [イミダゾール化合物] 陰性(Ames 試験・染色体異常・小核試験) [アルコキシシラン] |
| 発がん性 | : 発がんのおそれの疑い。 [メチルエチルケトオキシム] 下記原料は製品に練り込まれており、吸入性の粒子としては存在していません。従いまして、供給された形態及び通常の使用方法では、危険性はないと思われまます。 酸化チタン。 |

ACGIH 発がん性物質

酸化チタン (CAS 13463-67-7) A4 ヒトへの発がん性を分類できない。

IARC 発がん性評価モノグラフ

酸化チタン (CAS 13463-67-7) 2B ヒトに発がん性の可能性がある。

| | |
|-----------------|---|
| 生殖毒性 | : 生殖能または胎児への悪影響のおそれ。 [イミダゾール化合物] 生殖毒性:NOAEL 500mg/kg/day(ラット), 母性毒性:NOAEL 500mg/kg/day(ラット) [アルコキシシラン] |
| 特定標的臓器毒性 (反復暴露) | : 長期にわたるまたは反復暴露により下記の臓器に影響を与える可能性がある。 造血系。 [メチルエチルケトオキシム][メチルオキシムシラン][ビニルオキシムシラン] 肝臓。 [イミダゾール化合物] |

その他の情報

製造時の副生物として本品に少量含まれ、又空気中の水分と接触して硬化する時に徐々に生成するメチルエチルケトオキシムの有害性

- 皮膚刺激性 ; 軽度の刺激性あり。
- 眼刺激性 ; 強い刺激性あり。
- 急性毒性 ; 経口 LD50=4ml/kg(ラット)
; 吸入 LC50=>4.8mg/l/4h(ラット)
- 吸入毒性 ; 高濃度で一時的な麻酔作用あり。その他血液機能への影響あり。
- 皮膚感作性 ; 陽性(ギニアピッグ、但し人では陰性)
- 神経毒性 ; 高濃度で一時的な運動機能低下(ラット)
- 発がん性 ; 高濃度(375ppm)でのラット及びマウスの生涯試験(約 2

年)でオスのみに肝腫瘍 が観察された。

その他の長期暴露試験；嗅覚上皮細胞の退化が観察された。(ラット、マウス)
 許容濃度 メルエチルケトキシムメーカーの暴露ガイドライン； 3ppm(TWA),
 10ppm(STEL) AIHA WEEL(米国 産業衛生学会、作業
 環境暴露レベル)； 10ppm(TWA)

下記原料は労働安全衛生法の表示対象物質ですが、GHS 分類の基準では分類
 される危険有害性を有しません。ただし、分類がないことは慢性的な吸入ばく露
 での何らかの有害性のおそれを否定するものではありません。

シリカ・酸化チタン

1 2. 環境影響情報

環境影響データ

| 成分 | 種 | 試験結果 |
|----------------------------|----------------------------------|---------------------------|
| アルコキシシラン | | |
| 水生 | | |
| 魚類 LC50 | 魚(Brachydanio rerio) | 597 mg/l, 96 hr |
| 甲殻類 EC50 | オオミジンコ | 90 mg/l, 48 hr |
| | | 81 mg/l, 48 hr |
| | オオミジンコ | > 1 mg/l, 21 日 |
| 藻類 NOEC | 緑藻 (selenastrum capricornutum) | 5.5 mg/l, 72 hr |
| ErC50 | 緑藻 (selenastrum capricornutum) | 8.8 mg/l, 72 hr |
| イミダゾール化合物 | | |
| 水生 | | |
| 魚類 LC50 | コイ | 0.61 mg/l, 96 hr |
| | ニジマス | 0.41 mg/l, 96 hr |
| 甲殻類 EC50 | ミジンコ | 0.27 mg/l, 96 hr (遊泳阻害試験) |
| 酸化チタン (CAS 13463-67-7) | | |
| 水生 | | |
| 魚類 LC50 | マミチヨグ (Fundulus heteroclitus) | > 1000 mg/l, 96 hr |
| 甲殻類 EC50 | オオミジンコ | > 1000 mg/l, 48 hr |
| 分解生成物 | | |
| | 種 | 試験結果 |
| メチルエチルケトオキシム (CAS 96-29-7) | | |
| 水生 | | |
| 魚類 LC50 | ファットヘッドミノー (pimephales promelas) | 777 - 914 mg/l, 96 hr |

生態毒性 : 水生生物に非常に強い毒性。長期継続的影響によって水生生物に非常に強い
 毒性。 [イミダゾール化合物]
 水生生物に毒性。 [アルコキシシラン]
 水生生物に有害。 [メチルエチルケトオキシム]
 残留性/分解性 : 大気中または水中で容易に加水分解する。 [アルコキシシラン]

1 3. 廃棄上の注意

地域の廃棄規制 未硬化物： 焼却処理。その際、シリカの微粉が生成致しますので適切な設
 備での焼却をお願い致します。また、必要に応じて防塵マスク等の保護具の
 着用をお願い致します。
 硬化物： 埋没処理又は焼却処理。焼却の際は、シリカの微粉が生成致しま

すので適切な設備での焼却をお願い致します。また、必要に応じて防塵マスク等の保護具の着用をお願い致します。

廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。本物質を下水や給水設備に流さないこと。内容物/容器を地域/地方/国/国際規則に従って処理すること。

1.4. 輸送上の注意

- 国際規制 IATA 危険物には該当しない。
IMDG 危険物には該当しない。
MARPOL73/78 条約の附属書 II 及び IBC コードによるバルク輸送
本製品は、ばら積み輸送用ではありません。
国内規制 国内輸送については15章の規制に従うこと。

1.5. 適用法令

労働安全衛生法

- 特化則 第一類物質 該当せず
第二類物質 該当せず
第三類物質 該当せず
有機則 第一種有機溶剤 該当せず
第二種有機溶剤 該当せず
第三種有機溶剤 該当せず

通知対象物 シリカ 5.0 - 10 %
酸化チタン (IV) 1.0 - 5.0 %

表示対象物 シリカ
酸化チタン (IV)

毒物及び劇物取締法

- 特定毒物 該当せず
毒物 該当せず
劇物 該当せず

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

- 第一種特定化学物質 該当せず
第二種特定化学物質 該当せず
監視化学物質 該当せず
優先評価化学物質 該当せず

化学物質排出把握管理促進法

- 特定第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量) 該当せず
第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量) 該当せず
第二種指定化学物質(物質名、政令番号、含量) 該当せず

消防法 指定可燃物 (可燃性固体類)

船舶安全法・危規則 該当せず

航空法・施行規則 該当せず

火薬類取締法 該当せず

高压ガス保安法 該当せず

海洋汚染防止法 該当せず

1.6. その他の情報

ホルムアルデヒド放散量区分：(日本シーリング材工業会)ホルムアルデヒド汚染対策のための自

主管理規定 JSIA-027035 F☆☆☆☆

引用文献 : HSDB® - Hazardous Substances Data Bank
 IARC 発がん性評価モノグラフ
 National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens
 ACGIH Documentation of the Threshold Limit Values and Biological
 Exposure Indices
 日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告

本データシートは、日本工業規格 Z 7253:2019「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)」(以下「JIS」という)に準じて作成されており、用語の定義は、JISに従っています。

本データシートは製品の安全な取扱いを確保するための「参考情報」として、作成時点で弊社の有する情報を取扱事業者に提供するものです。

取扱事業者は自らの責任において各々の実体に応じた適切な処置を講ずることが必要です。

記載内容は現時点で入手できる資料/情報/データに基づいて作成しております。しかし含有量、物理化学的性質、危険有害性等に関してはいかなる保障をなすものではありません。

関連する新しい情報を入手した場合、本SDSは改訂されることがあります。また注意事項は通常の取扱いを対象にしたもので、特別な取扱いをする場合には用途/用法に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。